

様々な理由で学校に通えない子どもたちにも給食の楽しさを

大田区教育委員会

教育長 小黒仁史

大田区教育委員会は、子どもたちが生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、健康教育や食育、基本的な生活習慣の確立を推進しています。

特に学校での給食は、子どもたちの心身の健やかな成長や、食に関する正しい理解や望ましい食習慣を養う上で、生きた教材として大変重要な役割を果たしており、子どもたちが日本の伝統的な食文化はもちろん、世界の食文化についても学べるような献立やおいしくて健康になる献立等、各学校が工夫を凝らしつつバラエティ豊かな給食献立をつくっています。

このように、学校では給食を通じた食育など健康に関する取り組みを行っていますが、人間関係や将来への不安などの様々な要因により、現状、学校に通うことができないお子さまもいらっしゃると思います。お子さま自身はもちろんのこと、保護者の皆様におかれましても不登校やそれに伴うお子さまの生活習慣の乱れなど、日々不安な気持ちを抱えられていることと思います。

区ではお子さま一人ひとりに対するきめ細かな支援等、不登校対策を進めております。令和6年度には、つばさ蒲田教室に通うお子さまを対象として試験的に給食試食会を実施しました。参加した子どもたちは仲間と給食の時間を共有し、楽しいひとときとなったようです。また、大田区では令和5年度から学校給食の無償化を実施していますが、令和7年度からは、つばさ教室にお弁当を持参して通うご家庭に対する給食費相当額の補助も開始しました。

今後も、子どもたちが笑顔あふれ、健やかに成長していけるよう、学校での給食による食育を通じた健やかな成長と豊かな経験の機会を提供していくほか、様々な理由で学校に通えない子どもたちにも楽しい食事の時間を過ごしてもらえるよう、令和7年度もつばさ教室での給食試食会を計画しています。

家族や仲間との楽しい食事の時間を共有することは、健康な身体づくりだけでなく、安らぎや豊かさ、そして幸福感の向上など、心の健康にもつながるものと思います。ぜひご家庭でも、お子さまと「食」を通じてコミュニケーションを深めていただければと思います。